



～中学生のための佐原高校情報紙～

佐原高校だより

こんにちは!「佐原高校だより」(通称:佐高だより)では、佐原高校での高校生活についてお伝えしていきます。

星輝祭は大盛況でした。

6月26日(金)、27日(土)に「翼 TSUBASA」をテーマに開催された星輝祭は、大盛況のうちに幕を閉じました。特に、27日の一般公開には、昨年2,200人を突破した来校者数をさら上回る約2,300名の方がおいでくださいました。小学生から人生の大先輩まで様々な年代の方に星輝祭を楽しんでいただき、心から感謝申し上げます。

開祭式ではダンス同好会や各学年のクラティ(クラスTシャツ)PRのパフォーマンス、写真部作成のムービー、各団体のPRムービーが上映されました。今年も3年生を中心にレベルの高い演劇が上演され、大喝采を浴びていました。

部門別グランプリは次のとおりです。

食品部門 1年B組 ひとみ家(牛丼、カレー)

一般部門 1年H組 つまようじアート

公演部門 3年D組 新撰組～誠



1年H組が作成した83,000本の爪楊枝を使った伊能忠敬のモザイク画は、話題を呼び、千葉日報やその他の情報誌に掲載され、7月1日にはTBSの「あさチャン」で放送されました。



全国大会出場決定!

カヌー同好会、文学部が全国大会への出場を勝ち取りました。出場する人たちに紙上インタビューを行いました。

全国高校総合体育大会出場カヌー同好会 八角 周平くん(小見川中)

男子カナディアン500m、200m

Q:全国大会出場が決定してどう思いましたか。

A:全国大会での優勝を今年の1つの目標としていたので、まず、1ステップ前に進めた



なという気持ちでした。

Q:全国大会への思いについて教えてください。

A:昨年のインターハイではあと少しでメダルを獲得できたのですが、実力不足でできませんでした。今年は、3月に行われた海外派遣選手選考会で、1000m、200mの両方で優勝し、日本代表に選ばれたので、その結果に泥を塗らないように、インターハイ種目である500mも200mも優勝したいです。

Q:海外遠征に行くと言っていますが、今後のスケジュールを教えてください。

A:7月19～28日にはカヌースプリントジュニアU23世界選手権大会(ポルトガル・モンテモル)、9月19～29日にはカヌースプリントオリンピックホープス(ポーランド・ヴィドゴシュチュ)、11月2～6日には第16回アジアカヌースプリント選手権大会(インドネシア・パレンパン)に出場します。

Q:将来の夢を教えてください。

A:今までの競技生活で身につけたスキルを利用したり、競技生活で感じたカヌー選手の体やカヌーの動きに対する疑問などを研究する仕事についてみたいです。

Q:カヌーと学校を両立させるために心がけていることは何ですか。

A:とにかく隙間時間を効率よく利用しようと考えています。

Q:中学生へのメッセージをお願いします。

A:いろいろな方から聞くかもしれませんが、努力しなければ成功なんてつかめません。「蒔かぬ種は生えぬ」です。努力しないで成功を祈る人は、何も無い地面に「花よ咲け!」と言っているのと同じですよ。成功のカタチは人それぞれ違いますが、ぜひ、その成功に向けてひたむきに努力してください。

全国高校総合文化祭

文学部 吉江真耶さん(下総中) 俳句部門

Q:全国大会出場が決定してどう思いましたか。

A:朝のSHRで出場決定のことを聞きました。嬉しいという思いはもちろんありましたが、どうして私の作品が選ばれたのだろうと考えることもありました。私は本を読むことが好きですし、部活動や創作に対してそれなりに意欲はありました。私は俳句部門で出場しますが、普段は俳句を詠むことは少なく、自分で進んで勉強することはありませんでした。本を読むことと作品を書くことが「好き」のままで止まっていた。全国大会という場で選ばれた他校の文学部員たちと作品について話し合い、ぶつかり合い、吸収できるものはすべて吸収し、それを文学部の技術の向上に役立てられるよう頑張ります。

Q:選ばれた作品と作者の思いを教えてください。

A:「教室は 上の階だと 東風が言う」

「十六歳 シロツメクサの 名を忘れ」

「不安など 舞い散っていく 春の果て」

全て春の俳句で統一しました。特に2句目について説明します。道端にただ咲いていたシロツメクサの名前がぱっと思いつけなかった時がありました。幼い頃に遊んだ草花の名前を忘れてしまうとは、16歳になって得たものもあれば、忘れてしまうものもあるのだと気づいた時の句です。

Q:将来の夢を教えてください。

A:詳しいことはまだ決めていないのですが、書く仕事がしたいです。新聞記者やジャーナリストを考えたことがあります。未定です。文学を通して人と関われば幸せだろうと思います。

Q:中学生へのメッセージをお願いします。

A:ただ今文学部は部員4人で活動しています。全員が兼部をしています。部員不足ですので是非他の部活動に入りたいと思っている方も文学部に来てほしいです。今、本を読んでおくことは、月並みですが大切だと思います。言葉ひとつでそれが指針になったり、希望になったりします。中学生のうちに道標となるような言葉を是非見つけてください。



8月20日(木)、21日(金) 佐原高校体験入学@佐原高校
 8月23日(日)終日 進学フェア(個別相談ブース)@メルキュールホテル成田
 10月17日(土) 中学生・保護者対象学校説明会(授業見学あり)@佐原高校
 10月25日(日)終日 進学フェア(個別相談ブース)@アトンプラスホテル